

日本におけるシステマティックレビューの Bibliometrics

－2015年発行誌の医中誌 Web データより－

眞喜志まり

東邦大学習志野メディアセンター

背景と目的：システマティック・レビュー（以下、SR）では、具体的な臨床疑問に関連した論文を明示的で再現性のある方法にて系統的検索を行い、同定された論文の批判的吟味と結果の統合を行う。SRの作成手順は大別すると臨床疑問の明確化、論文の選択基準の決定、関連のある論文の系統的検索、選択された論文の批判的吟味、そして結果の統合という5つのステップから構成される。本研究ではSRにおける文献検索を中心に、国内で生産されるSRの特徴を探ることを目的とする。

方法：医中誌 Web を用い2015年発行分でSRを行った研究論文を検索した。検索結果250件（2017年6月15日検索）のうち、本学で契約しているまたはOA等で入手可能な研究論文を抽出し調査している。以下は、調査項目および結果の一部である。

Characteristic	Category	Number(Percent)
Total number of journals		22
indexed MEDLINE		13 (40.9%)
language	English	17 (77.3%)
	Japanese	5 (22.7%)
Journal impact factor (2015)	0.0-5.0	15 (100%)
(n=15)	5.1-10.0	0 (0%)
	>10.1	0 (0%)
	Average	1.759
country of first author	japan	6 (27.3%)
	china	6 (27.3%)
	USA	3 (13.6%)
	others	7 (31.8%)
number of author	Average	5.0
"systematic review" or "meta-analysis" used in title/abstract		18 (81.8%)
number of databases searched	Average	2.5
year of coverage reported	both start and end	5 (22.7%)
	dates are reported for all databases	

Fig.1 A part of epidemiology of systematic reviews indexed in 2015, subgrouped by focus of SR.

結果および考察：引き続き調査を進め、当日会場で発表したい。